

「聴き合える関係をつくる」

校長 石田 雄介

先の運動会では、多くの保護者の皆様からご来校いただき、大変ありがとうございました。応援団を中心とした元気な赤白応援合戦に始まり、徒競走・団体種目・五泉甚句と、子どもたちの生き生きした姿をご覧いただけたかと存じます。皆様のご協力のおかげで、素晴らしい一日となりました。心より感謝申し上げます。

さて、6月となります。6年生はすぐに五泉市親善陸上記録会、5年生は中旬に自然体験教室が待っていますが、全校としては「落ち着いて学習を深めるモード」への切り替えをしているところです。そこで、子どもたちに伝えたいメッセージがあります。

南っ子の皆さんへ：

自分が話をしている時に、友達がしっかり聴いていてくれるとうれしいですね。では、ちゃんと聴いていることを、どうやって相手に伝えればいいのでしょうか？いい方法があります。それは、「**反応する**」ということです。

1・2年生には少しむずかしい言葉ですが、教えます。おぼえてね。

例えば、「宿題やった？」と言われたら、「うん、がんばったよ！」などと返します。話し手に何かお返しすることが、反応するということです。

いい反応が返ってくると、話し手は嬉しいですね。

相手がうれしい反応の合言葉は、「**かお・くび・こえ**」です。

①**かお** … 目を向けて話す友達の顔を見ましょう。

②**くび** … 首ふり。うなずいたり、振ったり、傾けたりしましょう。

③**こえ** … 声や言葉で伝えましょう。

「あ・い・う・え・お」だけでも反応できますよ。

この3つを、組み合わせてできたら、あなたは「聴き方名人」です。

友達がうれしいと思う反応をすると、友達からまたあなたに反応が返ります。

話し合いが進み、良い考えが生まれてくるのです。

全校のみんなで、友達の意見にどんどん反応して聴いて、

自分の力を伸ばす6月にしましょう。

授業で自分の考えや思いを表現することは大切です。そしてそれを実現するために大事なものは「**聴き手の態度**」です。しっかり聴くこと、互いに聴き合うことで、「聴いてもらえる」「教室は間違えてもいい所」という安心感があること。このことで、学習は深まります。学校運営のグランドデザインにも、**今年度の重点**として位置づけました。一人一人の声を教師も子どもも確かに聴き、聴き合う授業を目指して参ります。